

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
家族関係学	松田 いらあ	講義	2		2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>この授業では、近代社会以降において、家族になること／家族であることの意味と困難を事例とともに解説する。そのため「家族の定義」、「家族の過去・現在・未来」、「家族とライフコース」という三つのテーマを設定する。</p> <p>授業は基本的に講義形式で行う。随時授業内課題を実施し、提出された課題をもとに受講生とともに考える機会を設ける。</p>						
到達目標	<p>この授業では、受講生が現在の家族関係をめぐる課題を知るだけでなく、家族をめぐる従来の議論の前提自体を再検討できるようになることが目標である。</p>						
回	学習内容						
1	はじめに：この授業の進め方と評価方法の説明						
2	家族をめぐるさまざまな定義						
3	家族の定義、イメージと実像						
4	近代以前の家族：「家」と「イエ」						
5	日本の「近代家族」（20 世紀前半まで）						
6	日本の「近代家族」（20 世紀後半から）						
7	現代家族をめぐるデータと実情						
8	現代家族の課題						
9	青年期と家族						
10	パートナーシップ、夫婦関係						
11	親子関係						
12	高齢期と家族						
13	親密圏と家族						
14	家族の可能性と限界						
15	まとめ：この授業の総括						
予習内容 復習内容	<p>予習：前回の授業内容の確認。</p> <p>復習：授業資料や参考文献を参照して、学習内容の理解を深める。</p>						
教科書	テキストは使用しない。参考文献は講義中に伝える。						
成績評価	授業内課題 50%、レポート 50%。全 15 回のうち 10 回以上の出席者が成績評価の対象となる。						
実務経験							
その他 特記事項							